

各分野における平成 28 年度の実績について

- 1 農業分野 1 ～ 3 ページ
- 2 林業分野 4 ページ
- 3 水産業分野 5 ～ 6 ページ
- 4 商工業分野 7 ～ 8 ページ
- 5 観光分野 9 ～ 12 ページ
- 6 住宅分野 13 ～ 14 ページ

「数値目標等に対する客観的評価」の方法

- ・達成状況を客観的に評価できる目標について、以下により3段階評価を実施

区分	評価基準	
A+	平成28年度の数値目標と実績値を比べて、数値を改善もしくは維持できたもの、または状況を改善できたもの	<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標を達成したもの→数値目標の達成率が100%以上 ・数値目標ではないが客観的評価ができる目標を達成したもの
A		<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標をほぼ達成したもの →数値目標の達成率が60%以上100%未満
A-		<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標の達成に向けて十分な進展が見られなかったもの →数値目標の達成率が60%未満

平成28年度の取組実績【農業分野】

数値目標	目標値(H28)	実績値(H28)
新規就農者数	10人	14人

戦略の柱	具体的な取組	目標値に対する実績(成果等)		総括		今後の取組(対策、改善)
		○指標及び目標値 (平成28年度末)	実績値 (平成28年度末)	数値目標に対する 客観的評価	原因及び課題(分析)	
基盤整備・防災	◆農業生産基盤の充実(県防災減災事業)					
	1.防災施設対策整備	○黒谷ため池(測量設計) 1箇所	○黒谷ため池(測量設計) 1箇所	A	対象地の土地表題が未確定であったため事業着手にともなう登記事務に不測の日数を要した。	29年度に測量設計を完了する予定で進めている。平成30年度の工事着手に向けて地元組織と実施調整を行いながら工事完了を目指す。
	2.排水機場施設整備	○吉原排水機場 (ポンプ・電気)1箇所	○吉原排水機場 (ポンプ・電気)0箇所	A-	県営防災関連事業を重点に行っており本事業においても割り当てがなかった。	平成29年度新規採択となっており、事業主体である県と実施調整を密に行いながら事業完了を目指す。
	3.農業基盤整備促進事業	○頭首工他 3箇所	○頭首工他 1箇所	A-	本事業においては事業費の割当が年々縮小傾向であり、今後は導入効果の高い事業への取り組みが必要である。	年々事業費が縮小されており今後においても割当は厳しい状況となっているため別事業での採択実施に向け予定地区と協議検討しながら新規事業導入を進めていく。
	4.工業用水道整備事業	○水路 2件	○水路 2件	A	工業用水対策委員会により代表者との実施箇所協議を行いながら早期竣工に向け計画的に進めていく。(予定どおり)	工業用水対策委員会により代表者との実施箇所協議を行いながら早期竣工に向け計画的に進めていく。
	5.農業集落排水整備(上岡地区集落道改良他道路)	○水路 2件	○水路 2件	A	集落環境整備事業に伴う代表者と実施箇所の検討協議を行いながら早期竣工に向け計画的に進めていく。(予定どおり)	集落環境整備事業に伴う代表者と実施箇所の検討協議を行いながら早期竣工に向け計画的に進めていく。
	◆防災への対策					
	1.農村地域防災減災事業	○避難タワー建設 3箇所	○避難タワー建設 2箇所	A	28年度において補正予算割り当てとなっており当年度は1箇所を施工中であり29年度も1箇所を施工予定であり引き続き県とともに実施地区と協議を密に行いながら工事完成に向け実施予定である。	28年度での補正予算に伴い割り当てとなっており30年度の完成に向けて県とともに実施地区と協議を密に行いながら進めていく。
	2.重油流出防止装置付き燃料タンク整備事業	○タンク整備 27基	○タンク整備 21基	A	重油価格の高騰や販売価格の低迷により流出防止装置付きタンクは、コスト削減に直結していないことから園芸農家は設備投資に慎重となっていることや設置場所が狭いことなどがあげられる。	園芸農家や重油供給者等、農業関係者一人一人に十分浸透していくよう周知を図る。

平成28年度の実績【農業分野】

数値目標	目標値(H28)	実績値(H28)
新規就農者数	10人	14人

戦略の柱	具体的な取組	目標値に対する実績(成果等)		総括		今後の取組(対策、改善)
		○指標及び目標値 (平成28年度末)	実績値 (平成28年度末)	数値目標に対する 客観的評価	原因及び課題(分析)	
経営改善・担い手	◆担い手対策の促進					
	1.園芸用ハウス整備事業	○ハウス整備 12件	○ハウス整備 9件	A	申請者の都合により取り下げ。	規模拡大であれば現在の経営規模による収量や経営状況を分析し確認することにより申請に至れば所得向上を図ることができる。
	2.園芸用ハウス復旧支援事業	○ハウス復旧 -	○ハウス復旧 -			
	3.研修・親元就農支援事業	○研修・親元就農者 4人	○研修・親元就農者 研修:3人	A	就農相談は多く関係機関で実施し、事業内容や研修内容を説明をしているが、申請がなかった。	2名が研修を終了し関係機関が協力し営農に至る。H29.2月より新たに実践的な研修を実施しており、新規就農者の育成を図る。
	4.青年就農給付金事業	○青年就農者 10人	○青年就農者 0人	A-	就農相談は多く関係機関で実施し制度説明はしている。しかし、事業の要件が厳しくなり該当者はいなかった。	広報などで周知を継続し、青年就農者の確保を図る。
	5.農業後継者推進事業	○農業後継者 15人	○農業後継者 10人	A	多数の問い合わせはあるが、所得制限等の要件に合わない農家があり目標値に達していない。	広報などで周知を継続し、農業後継者の確保を図る。
	6.経営所得安定対策推進事業	○主食用米 715ha ○飼料用米 68ha	○主食用米 526ha ○飼料用米 42ha	A	ほぼ順調に推移している。	H30年度から米の生産数量目標の配分がなくなり、飼料用米の新規需要米への転換を推進する。
	7.農地中間管理事業	○利用件数 5件	○利用件数 5件	A+	順調に推移している。	農業関係者の会等や広報にて周知をしていく。
	8.環境制御技術導入促進事業	○利用件数 37件	○利用件数 177件	A+	順調に推移している。	引き続き、環境制御技術の導入することで、より一層の施設園芸農家の収入の増加を図る。
	9.産地パワーアップ事業		○利用件数 ・トラそぐり機25台 ・低コスト耐候性ハウス ・ニラ55a ・小ネギ2棟(17a、19a)	A+	順調に推移し達成する。	トラそぐり機等の追加要望があることから、引き続き、産地の収益強化に取り組む。
10.次世代型ハウス・農業クラスター促進事業			A	市、振興センター、JA土佐香美等でニラのクラスタープラン策定を具体化に向け進めている。	前年度から継続はしているが、早期策定に向け具体化に取り組む。	

平成28年度の実績【農業分野】

数値目標	目標値(H28)	実績値(H28)
新規就農者数	10人	14人

戦略の柱	具体的な取組	目標値に対する実績(成果等)		総括		今後の取組(対策、改善)
		○指標及び目標値 (平成28年度末)	実績値 (平成28年度末)	数値目標に対する 客観的評価	原因及び課題(分析)	
経営改善・担い手	◆消費者の安全安心志向への対応					
	1.地産地消推進協議会補助事業	○市内野菜の使用率 37%	○市内野菜の使用率 31%	A	夏場の水不足により野菜価格の高騰で地元食 材の購入を控えたため。	新設された予冷库へ野菜を一時保管するな ど、市場価格に左右されない体制作りを検証 する。
	2.環境保全型農業推進事業	○利用件数 3部会	○利用件数 3部会	A+	順調に推移し達成する。	引き続き、化学農薬の低減に努め、天敵製剤な どの技術を導入し、環境に優しい農業生産を行 う。
	3.信頼される産地づくり支援事業	○利用件数 150検体	○利用件数 147検体	A	ほぼ順調に推移している。	引き続き、残留農薬の検査を実施し、安全・安心 な農産物の生産に努める。
中山間	◆農地の保全と活用の促進					
	1.中山間地域等直接支払事業	○組織数 11組織	○組織数 11組織	A+	順調に推移し達成する。	協定参加者を増やすため、各協定代表者に働 きかけを行っていく。
	2.多面的機能支払事業	○組織数 11組織	○組織数 11組織	A+	順調に推移し達成する。	同上
	◆有害鳥獣被害対策					
	1.鳥獣被害対策実施隊	○捕獲数 イノシシ220頭 シカ150頭 カラス・カワウ他 500羽	○捕獲数 イノシシ158頭 シカ207頭 カラス・カワウ他 49羽	A-	ほぼ順調に推移している。	狩猟免許試験や補助金・報奨金等の案内を広 報等で周知し、より一層の有害鳥獣対策の周知 を行っていく。
	2.有害鳥獣被害防止事業	○防止柵延長 10,000m	○防止柵延長 7,539m	A	ほぼ順調に推移している。	同上

平成28年度の実績【林業分野】

数値目標	目標値(H28)	実績値(H28)
森林境界明確化面積	-	-

戦略の柱	具体的な取組	目標値に対する実績(成果等)		総括		今後の取組(対策、改善)
		○指標及び目標値 (平成28年度末)	実績値 (平成28年度末)	数値目標に対する 客観的評価	原因及び課題(分析)	
基盤整備	◆林業生産基盤の充実 ・林道道路側溝整備事業(城山・羽尾線L=7,094m) ・その他の施設維持管理工事 ①畑山・奥西川線擁壁復旧工事 ②畑山・奥西川線舗装工事【H29年度に実施予定】 ③畑山・仲木屋残土場整備事業	・林道道路側溝整備事業 L=2500m ・その他の施設維持管理工事 ①完了 ②完了 ③完了	・林道道路側溝整備事業 L=2500m(完了) ・その他の施設維持管理工事 ①完了 ②未了(H29年度予定) ③完了	A	施設の劣化、湧水等により、施設の復旧に当初予定したよりも時間・費用等を要したため。	予定していた工事をH29年度に繰越、引き続き工事を行う。
森林資源保全	◆森林の多面的な利活用の促進 ・緊急間伐総合支援事業 ①切捨間伐(10ha)夜須町羽尾・沢谷 ②保育・搬出間伐(30ha)香我美町撫川・舞川 ③作業道整備(2,800m)香我美町撫川・舞川 ④人工造林(3ha)被害防護ネット(1,000m)香我美町別役【H29年度に実施予定】	・緊急間伐総合支援事業 ①10ha ②30ha ③作業道整備(2,800m) ④人工造林(3ha)被害防護ネット(1,000m)香我美町別役【H29年度に実施予定】	・緊急間伐総合支援事業 ①0ha ②16ha ③2,802m ④人工造林(3ha)被害防護ネット(1,000m)香我美町別役【H29年度に実施予定】	A-	計画通り進めているが、地権者の同意が得られず規模が縮小となっている。	事業を理解してもらい同意者を増やしていく対策が必要。
	・森林整備地域活動支援事業 ①森林経営計画(100ha)香我美町撫川・夜須町仲木屋・沢谷【90ha実施中】 ②施業集約化(5ha)香我美町奥西川 ③条件整備(作業道の改良50ha)香我美町撫川・舞川・奥西川	・森林整備地域活動支援事業 ①100ha ②5ha ③作業道の改良50ha	・森林整備地域活動支援事業 ①84.41ha ②0ha ③0ha	A-	計画通り進めているが、地権者の同意が得られず規模が縮小となっている。	事業を理解してもらい同意者を増やしていく対策が必要。
	・水源の森整備事業 ①搬出間伐(5ha)香我美町撫川	・水源の森整備事業 ①5ha	・水源の森整備事業 ①5ha	A	継続事業であるので引き続き実施していく。	同左
	・森林整備推進事業(高性能林業機械導入) ①木材自動選別機 ②脱着式コンテナ	・森林整備推進事業(高性能林業機械導入) ①H28年10月末に納品→可動 ②H29年3月導入予定	・森林整備推進事業(高性能林業機械導入) ①導入済み ②H29年度導入予定	A	香美森林組合の事業要望について負担額によっては事前協議も必要な場合もある。	できる限り意向に沿うよう協力していく。
木質バイオマス	◆森林の活用 ・木質バイオマス利用促進事業については6月末全体協議会が開催され、木質バイオマスボイラーの導入状況及びペレット需要状況とバイオマス発電の稼働状況について協議した。 ・CLT建築推進協議会主催事業としては9月に「高知県自治会館新庁舎」完成見学会へ参加【市長・住宅管財課・農林課】し、新庁舎建築における部分的なCLT活用に向けて勉強した。	○農業ハウス用ペレットボイラー数 現状維持【H27・2基】	○農業ハウス用ペレットボイラー数 現状維持【H27・2基】	A	現在まで問題なく利用している。	今後の耐用年数の問題等。

平成28年度の取組実績【水産業分野】

数値目標	目標値(H28)	実績値(H28)
沿岸漁業総生産量	1,200トン以上維持	693トン

戦略の柱	具体的な取組	目標値に対する実績(成果等)		総括		今後の取組(対策、改善)
		○指標及び目標値 (平成28年度末)	実績値 (平成28年度末)	数値目標に対する 客観的評価	原因及び課題(分析)	
改修整備・経営基盤強化	◆水産機能施設の整備 ・赤岡支所水産機能施設荷捌所排水施設修繕工事 ・赤岡支所水産機能施設荷捌所ネット・バードピン設置工事 ・赤岡支所水産機能施設ホイスドレーン取替工事 ・手結支所荷捌所のフォークリフト購入事業 ・手結支所製氷冷蔵施設のアイスカッター取替工事 ・赤岡・吉川漁港における鳥害対策の効果的な実施に向けた検討	○老朽化に伴う各種漁業用施設の改修・整備 4件	○老朽化に伴う各種漁業用施設の改修・整備 5件	A+	・事業を順調に進めることができた	・漁業用施設の機能保持のための継続的な改修・整備の実施 ・一定の効果は見られたが、フン害の解消までは至っておらず、継続又は新たな対応策を検討 ・荷捌所の衛生管理の向上
	◆漁港施設の整備 ・水産物供給基盤機能保全事業 住吉漁港東防波堤保全工事(入札不成立により翌年度へ繰越) 吉川漁港-1.5m物揚場(北)保全工事 ・吉川漁港施設用地[漁具干場・物揚場]舗装復旧工事 ・吉川・住吉漁港航路標識保守点検 ・県営事業 赤岡漁港3号導流堤保全工事(継続中) 河川海岸高潮対策事業 [岸本海岸離岸堤消波ブロック製作・据付工事](継続中) 県管理漁港について県への要望活動を実施	○改修整備率 23%	○改修整備率 19%	A-	・住吉漁港東防波堤保全工事の入札不成立により平成29年度に繰越となったため改修整備率が未達成	・住吉漁港東防波堤保全工事については工法再検討を実施し、平成29年度中の完成を目指す。 ・漁港施設の機能保持のため計画に沿った保全工事の実施 ・県営事業(港湾・漁港・海岸)への要望活動を継続して実施。
	◆新規漁業就業者の確保 ・赤岡地区の新規就業希望者への技術研修支援 (H26.11.1~H28.10.31 2年間)	○新規就業者(中核漁業者) 1名確保	○新規就業者(中核漁業者) 1名確保	A+	・事業を順調に進めることができた	就業希望者の確保に向けU・Iターン者の受入の推進(地域支援課との連携)・継続
	◆漁場の保全 ・手結地区藻場保全活動 母藻の設置1回、ウニ駆除5回、魚類駆除2回、モニタリング1回 ・赤岡・吉川地区の掃海活動の実施	○海藻類育成被度 52%	○海藻類育成被度 44%	A	・食害生物のウニ・魚類駆除を実施し、母藻の設置を実施しているが、現場海域の水質にあったものかを検証する必要がある ・モニタリング等専門的な知識も必要であり関係機関の協力が必要である	・ウニ・魚類駆除の継続し、魚類除去については効果をあげるため藻食性の魚類を対象にヤスを用いて直接駆除する方法を用いる。母藻の採取は近隣海域で行い、試験的に設置する ・活動組織の強化
	◆漁業者の所得向上 ・沿岸漁業者設備投資促進事業(エンジンリース事業)への要望の継続 ・沖合養殖振興事業の実施 カンパチ養殖の新技术導入試験(ハダムシ対策) 実施期間:10月~3月	○沿岸漁業総生産量 1,200t/年	○沿岸漁業総生産量 693t/年	A-	・赤岡・吉川における漁獲高は、例年になく不漁であった ※前年度比:63.8%、1,086t(H27)	・エンジンリース事業 要望が多く計画の通りの実施は厳しい状況であるが、採択に向け引き続き要望する ・沖合養殖振興事業 成育、歩留率の向上を目指すと共に、販路拡大に向けた取組を図る必要がある ・シラス漁の所得向上 課題(加工技術の向上・販路拡大・鮮度維持の向上・沖止めの解消・作業時間の見直し等)を抽出。今後は市・漁協・漁業者・加工業者との連携強化を図り、問題解決や所得向上策への取組に向けた協議を継続する
	◆観光漁業の推進 ・地産地消推進事業として小学生の地引き網体験(11/13実施)	○地引き網漁業経営体の維持 1経営体	○地引き網漁業経営体の維持 1経営体(休業中)	A-	・後継者不在のため休業中	・市の体験漁業の中心を担ってきた地引き網漁業は現在休止の状況であり、再開に向けた取り組みを行う必要がある。また遊漁船等への支援事業も含め、体験漁業を振興することにより交流人口の拡大を図る

平成28年度の取組実績【水産業分野】

数値目標	目標値(H28)	実績値(H28)
沿岸漁業総生産量	1,200トン以上維持	693トン

戦略の柱	具体的な取組	目標値に対する実績(成果等)		総括		今後の取組(対策、改善)
		○指標及び目標値 (平成28年度末)	実績値 (平成28年度末)	数値目標に対する 客観的評価	原因及び課題(分析)	
生産・加工・流通・販売	<p>◆水産加工品流通販売の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手結支所加工場整備事業(ヘッドカッター導入) ・地産地消の推進及び体験学習 <ul style="list-style-type: none"> 11/13 地引き網、釜揚げ、シイラのフライ体験(赤岡小学校) 1/27 地元漁業の学習(夜須小学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ○食育活動の展開 ○学校給食への加工品の納入 19回 ○販売金額 1,500万円 	<ul style="list-style-type: none"> ○食育活動の展開 ○学校給食への加工品の納入 22回 ○販売金額 4,058万円 	A+	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を順調に進めることができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・水産加工品の新たな事業化(シラス) ・市外への販路拡大 ・食育活動の拡充 ・水産物ブランドの確立 ・鮮度保持の向上

平成28年度の取組実績【商工業分野】

数値目標	目標値(H28)	実績値(H28)
製造品出荷額等	500億円以上	419億円※H26

戦略の柱	具体的な取組	目標値に対する実績(成果等)		総括		今後の取組(対策、改善)
		○指標及び目標値 (平成28年度末)	実績値 (平成28年度末)	数値目標に対する 客観的評価	原因及び課題(分析)	
ものづくりの基盤整備	◆香南工業団地整備事業 ・高知県企業立地セミナーin大阪(8/23)への参加…2名 ・(株)精工…2/1操業開始 ・山本貴金属地金(株)…9/16着工、3/31竣工、 ・(株)泉井鉄工所…12/20土地譲渡契約締結、2/7着工、	○残り1区画(A区画)の 早期完売を目指す	○A区画問い合わせ件数 4件	A	・企業立地セミナー等に参加することで積極的 な団地分譲を図ることができた。	・現在、A区画商談中の企業と交渉が成立する よう県企業立地課と連携し、早期完売を目指 す。
	◆香南工業団地企業立地促進事業 ・(株)精工と雇用対策に関する打合会を開催…7/26開催 ・(株)精工会社説明会、面接会の開催…9/23～24開催 2日間で26名の参加(うち香南市在住15名)	○立地企業への雇用促進 及び産業の活性化を 図る	○補助金51,799千円を 交付	A+	・(株)精工と県、市が連携して雇用促進を図り、 新工場に係る新規採用者のうち、半数以上を 地元雇用者とする事ができた。(40名雇用の うち、地元雇用者20名)	・今後、操業開始を予定している立地企業と連 携し、積極的な地元雇用を図る。 ・山本貴金属地金(株)会社説明会、面接会6/23 ～24
	◆ルネサス高知工場及び川谷刈谷第二工業団地 ・ルネサス高知工場承継の可能性が考えられる企業への訪問活動等を 継続的に展開 ・知事及び市長がルネサス本社で呉社長に承継先の確保を強く要請… 9/8 ・ルネサス社プロジェクトチームとの協議…12/2 ・ルネサス関連企業を訪問し、雇用や経営状況等についての現状把握… 12/8高知ダイヤサービス(株)、12/16(株)太陽四國セミテック	○ルネサス従業員の雇用 確保及び事業承継先の 確保 ○川谷刈谷第二工業団地 への企業誘致	○ルネサス社及び関連 企業と協議・企業訪問 を行った。(4回) ○11/7川谷刈谷第二工 業団地の分譲を開始	A	・ルネサス社との協議を通して、ルネサス社にお いては銀行や証券会社等の様々なルートを通 じたアプローチ先の掘り起こしや現地視察の 受け入れをするなど、承継先の確保に精力的 に取り組んでいることを確認 ・川谷刈谷第二工業団地の分譲に関しては、ル ネサス高知工場の従業員の雇用の維持、継続 も視野に入れて活用することが和解契約にも 明記されていることから、今後、承継先の確保 とそれに伴う、従業員の動向も見極めながら、 分譲先の確保や選定を慎重に進めていく必要 がある。	・高知県と連携し、引き続き情報収集を行い、ル ネサス従業員の雇用確保及び事業承継先の確 保に努める。
ものづくり	◆香南市香我美町立地企業交流会 ・交流会において工業団地の周辺整備や南海地震対策について話し、 「香南市産業人材育成事業」の紹介を行った。	○懇談会の開催 年1回	○6/1懇談会を開催 8企業14名の参加	A+	・行政や企業間の情報交換の場として懇談会を 開催することができた。	・多角的な情報交換ができるよう、県や市以外 との機関との交流を図る。
	◆香南市ものづくり会 ・懇談会において、地域中核企業の支援及び人材育成支援研修について 講演を行い「香南市産業人材育成事業費補助金」の活用、香南市ものづ くりネットワークホームページの更新について協議を行った。	○懇談会の開催 年1回	○11/14懇談会を開催 6企業6名の参加 ○ホームページ更新 5社	A+	・懇談会への参加企業が少なくなってきた。 (H28年度は会員15社のうち6社が参加)	・会員の企業訪問を行い、雇用や経営状況、課 題等を把握し、支援策に反映させる。
	◆香南市産業人材育成事業 ・補助金交付要綱及び公募要領の作成…6/1施行 ・市広報紙、市ホームページへの掲載 ・商工会を通じて事業所への公募要領配布…500部 ・香南市香我美町立地企業交流会で紹介 ・香南市ものづくり会交流会で紹介	○利用件数 5件 ※補助率1/2 上限200千円× 5事業所	○利用実績 0件 (問い合わせ3件)	A-	・小規模企業などは製造ライン等に影響が出る ため人材研修に参加しづらい。 ・広報不足	・要綱の改正を行い、補助対象事業を追加す る。(講師招聘、市内開催研修を追加) ・対象業種の事業所への案内や、市ホームペ ージ等での広報を行う。
	◆香南市未来人材奨学金支援事業 ・補助金交付要綱及び公募要領の作成 ・市ホームページへの掲載 ・市内対象業者を訪問して事業説明	○利用件数 10件 ※補助率1/2 6,428円(自宅通学生 の借入平均月額 の1/2)×12月×10人	○利用実績 0件 (問い合わせ1件)	A-	・広報不足	・対象業種の事業所への案内や、市ホームペ ージ等での広報を行う。

平成28年度の取組実績【商工業分野】

数値目標	目標値(H28)	実績値(H28)
製造品出荷額等	500億円以上	419億円※H26

戦略の柱	具体的な取組	目標値に対する実績(成果等)		総括		今後の取組(対策、改善)
		○指標及び目標値 (平成28年度末)	実績値 (平成28年度末)	数値目標に対する 客観的評価	原因及び課題(分析)	
商業支援	◆香南市緊急融資保証料補給金事業 ・4月1日付けで高知県信用保証協会と補給金交付契約書を締結	○7年満期分 187,670円 ○10年満期分 167,500円	○利用実績 6件 13,205円	A	・高知県の緊急融資制度利用者が対象なので、 利用実績は今後も減少する。(対象業種が減っ ていくため)	・緊急融資を必要としている対象者に対して金 融機関等から案内してもらう。
	◆魅力のある商業地・商店街づくり ・地域経済活性化委員会の開催(4/20.5/18.9/15.10/25) ・商工会の会員へのアンケート調査	○ポイント制度導入のため の体制整備	○商工会会員へのアン ケート結果を踏まえ、ポ イント制度導入のための 検討を一旦休止	A-	・ポイント制度導入について、賛同する商工会 会員が少なかった。 ・後継者不足で10年先を考えることができる事 業者が少ない。	・今後の委員会では、イベントの開催やガイド ブック作成について検討する。 ・事業承継を進める方法の検討。
	◆空き店舗等の活用 ・空き店舗対策事業費補助金交付要綱を制定(H28.10) ・市ホームページへの掲載 ・市内金融機関を訪問して事業説明	○利用件数 2件 ※補助率2/10 上限400千円×2件	○利用実績 0件 (問い合わせ2件)	A-	・創業希望者の掘り起こし ・広報不足	・商工会主催の創業塾等により創業希望者の掘 り起こしを行う。 ・市ホームページや金融機関窓口で広報する。
	◆創業支援 ・商工会、高知県、産業振興センター等と協議して計画案を作成 ・計画案を四国経済産業局へ提出→12月26日付けで認定 ・商工水産課と香南市商工会にワンストップ窓口を設置 ・香南市商工会主催で創業塾を実施 ・創業支援事業計画認定について、市内全金融機関を訪問して説明と協 力依頼 ・金融懇談会を実施(2/22、3/28)【商工会、高知県信用保証協会、市内金 融機関、高知県、香南市】	○H28年度中の創業支援 事業計画策定	○創業支援事業計画策定 (H28. 12. 26認定) ○創業に関する相談件数 商工水産課 0件 香南市商工会 10件	A	・創業希望者の掘り起こし	・商工会主催の創業塾等により創業希望者の掘 り起こしを行う。

平成28年度の実績【観光分野】

数値目標	目標値(H28)	実績値(H28)
観光施設入込客数	100万人以上	104.7万人※歴年

戦略の柱	具体的な取組	目標値に対する実績(成果等)		総括		今後の取組(対策、改善)
		○指標及び目標値 (平成28年度末)	実績値 (平成28年度末)	数値目標に対する 客観的評価	原因及び課題(分析)	
核となる観光拠点の 形成	<p>◆三宝山観光拠点化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャトー三宝山耐震診断委託業務(工期:6/10~H29/2/10、完了検査:2/2) ・市及び県職員によるワーキンググループ(3/8,3/28) ・土地及び建物所有者との使用貸借契約締結(無償、H29/4/1~H34/3/31) 	○基本計画の策定	—	A-	・基本計画策定に欠かせない事業者の参画が見込めなかった。	・ワーキンググループ(4/13,4/25)において、三宝山の観光拠点化を進めるために必要なことは何かを具体的にイメージする。(三宝山の具体的な見える化)
	<p>◆ヤ・シィパーク周辺地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産振補助金を活用した加工所兼店舗の整備(5月) ・フルーツアイスパー&スイーツカフェ「mana mana(マナマナ)」オープン(7/23) ・ランドオープン(9/17) ① 雇用状況 <ul style="list-style-type: none"> ・店舗スタッフの雇用11名(店長兼外販担当1名、ホール責任者1名、パート及びアルバイト9名) ② 各種研修会への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・店長:HACCP研修他 ・ホール責任者:土佐FBC他 ③ 商品開発(12/15現在) <ul style="list-style-type: none"> ・アイスパー…16種類 ・フードメニュー…1種類 ・ランチメニュー…3種類 ・スイーツ…11種類 ④ 外販(店舗) <ul style="list-style-type: none"> ・土佐カントリークラブで3種限定販売(8月~) ・四万十町デュロックファームで3種限定販売(8/11~) ・大阪府2箇所にて8種期間限定販売(8/11~) ・高知市ひろめ市場で限定販売(予定) ⑤ 外販(カタログ) <ul style="list-style-type: none"> ・香南市ギフトカタログへの掲載 ・香南市ふるさと応援寄附金記念品カタログへの掲載 ・まるごと高知お取り寄せ・贈り物カタログへの掲載 ・百貨店「井筒屋」の来年のお中元カタログへの掲載予定 ⑥ 外販(インターネット販売)9/17より開始 ⑦ 外販(その他:贈答、景品用商品券、商品引換券発行) ・4団体と取引 ⑧ 各種情報誌への掲載やメディア放送により広報を実施 ⑨ その他の取り組み ・平成28年度「高知家つまいもの大賞2017」に最終審査まで通過 ・店舗運営体制の確立(マンパワーの確保)をするために、ハローワークを通じた募集を継続 	○加工所兼店舗の売上高 47,934千円 ※28/4/1~29/3/31	○加工所兼店舗の売上高 10,628千円 ※オープン(28/7/23)から 29/3/31		・当初の計画より開店時期が大幅に遅れたこと、また、加工・外販共に必要な人材の確保についても計画どおりには進まなかった。	・アイスパー原材料の必要数量を確保すること、また、アイスパーを計画的に製造及びストックするための冷凍庫を整備することにより、繁忙期である夏場に備え、売り上げの増加につなげる。そのため、県内外の企業との商談等を引き続き行うなど、販路拡大に向けて取り組む。

平成28年度の取組実績【観光分野】

数値目標	目標値(H28)	実績値(H28)
観光施設入込客数	100万人以上	104.7万人※歴年

戦略の柱	具体的な取組	目標値に対する実績(成果等)		総括		今後の取組(対策、改善)
		○指標及び目標値 (平成28年度末)	実績値 (平成28年度末)	数値目標に対する 客観的評価	原因及び課題(分析)	
広域観光の推進	<p>◆歴史を中心とした博覧会(志国高知 幕末維新博)</p> <p>・香南市クラスター協議会を立ち上げ(5月) ・「志国高知 幕末維新博」の取り組みを通じた、県内に存在する歴史資源の磨き上げ(リアル化)や、磨き上げた歴史資源を含めた観光資源を周遊できるコース(観光クラスター)を整備。(9.12月補正予算) ・補助金交付決定、事業開始(11月)</p> <p>《工事》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡看板設置 12箇所 ・YASU海の駅クラブ前観光案内版改修 ・赤岡町史跡・案内看板設置 6箇所 ・赤岡町黒看板張替 17箇所 ・絵金蔵UVカットフィルム張替 ・弁天座掲示板製作 ・絵金蔵土間・休憩所工事 ・絵金蔵館内案内サイン整備 ・絵金蔵案内サイン整備 ・絵金蔵館内案内パネル整備 ・絵金蔵サイン用電源工事 <p>《工事外》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクトランド(周遊パンフレット作成, Wi-Fi設置, レンタサイクル導入) ・絵金蔵(臨時職員の雇用, HPの多言語化) ・香南市観光協会(レンタサイクル導入) ・香南市案内人会(スタッフジャンパー及びハンズフリーマイクの購入, 資料用紙の購入) ・「まるごと体験 ツール・ド・香南」カタログ作成 20,000部 	<p>○絵金蔵入館数 博覧会期間中12,000人</p> <p>○アクトランド入園数 博覧会期間中130,000人</p>	<p>○絵金蔵入館数 (H28.3)601人 (H29.3)794人※32%増</p> <p>○アクトランド入園数 (H28.3)3,888人 (H29.3)4,476人※15%増</p>	A	<p>・協議会の立ち上げにより、事業者の意見を広く集め、具体的な課題を集約し、補助金を活用。市内に存在する歴史資源の磨き上げ(リアル化)や、磨き上げた歴史資源を含めた観光資源を周遊できるコース(観光クラスター)を整備することができた。</p>	<p>・磨き上げた歴史資源とその周辺観光資源の周遊促進に向けて、幕末維新博メイン会場や、道の駅などにガイドブックを配備。また、Webを活用した情報発信を行うことで、市内外の観光客を呼び込めるように各施設との連携を強化していく。</p>
	<p>◆観光施設間の連携</p> <p>・観光施設連絡会の開催(5/20.6/16.8/5.9/9.11/18.12/21.1/12.2/16.3/16) ・歴史博のリアル化、クラスター化について協議 ・香南市周遊サイクリングコース作りについて協議</p>	<p>○市内各地域の観光施設等の相互交流や活動の活性化、来訪者のサービス向上に努め、香南市の魅力向上と心のこもったおもてなしの推進に寄与する。</p>	<p>○香南市周遊サイクリングコースの策定 ○「まるごと体験 ツール・ド・香南」カタログ発行</p>	A	<p>・施設連絡会での事前ヒアリングにより、歴史博のリアル化、クラスター化の整備を過不足なく実施完了。 ・「まるごと体験 ツール・ド・香南」カタログを策定できた。</p>	<p>・歴史博のリアル化、クラスター化について引き続き協議。 ・H29年度に高知新港に寄航が予定される外国客船(例年の約2倍)に対する香南市への誘客・満足度向上を図っていく。</p>
	<p>◆歌舞伎でまちおこし</p> <p>① 土佐絵金歌舞伎定期公演(入場者約1,000人)及びワークショップ(参加者150人)【7/16、17開催】</p> <p>② 伝統芸能を中心とした公演会の開催 松竹シネマ歌舞伎(入場者約300人)【9/24、25】、 城山高校70周年記念公演(入場者約150人)【10/29】 「土佐の地芝居in弁天座」(入場者約300人)【10/30】 沖縄県八重瀬町「やえせ桜まつり」公演(入場者約3,000人)【2/5】</p> <p>③ 香南市民による歌舞伎を活用したコミュニティー事業 小中学生を対象とした出前授業 赤岡小学校(参加者50名)【5/29】 赤岡小学校(参加者44名)【11/23】 鳴り物・歌舞伎役者等のワークショップ 【4~3月57回実施、参加数延べ404人】</p> <p>・ワークショップや出前授業等を実施して「歌舞伎のまち香南市」をPRし、後継者の確保にもつながっている。</p>	<p>○地域住民、芸術団体、企業等と連携を図り、「地歌舞伎」をキーワードとした活動を進めながら、地域の歴史や文化を継承していくための、さまざまな施策を実施する。</p> <p>・ワークショップ参加者数:のべ360人 ・イベント参加者数:3,700人</p>	<p>・ワークショップ参加者数:のべ404人 ・イベント参加者数:4,900人</p>	A+	<p>・ワークショップに参加してくれた外国人を講師に招いて開催した「外国人観光客向け英会話講座」等、事業を実施することにより期待以上の広がりや効果があった。</p>	<p>・歌舞伎を活用した体験観光の実現に向けてモニターツアーを実施し、継続して行っていくための適正な料金、受け入れ可能人数などを具体的に検討する。</p>

平成28年度の実績【観光分野】

数値目標	目標値(H28)	実績値(H28)
観光施設入込客数	100万人以上	104.7万人※歴年

戦略の柱	具体的な取組	目標値に対する実績(成果等)		総括		今後の取組(対策、改善)
		○指標及び目標値 (平成28年度末)	実績値 (平成28年度末)	数値目標に対する 客観的評価	原因及び課題(分析)	
広域観光の推進	<p>◆塩の道を活用した取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体総会・香南支部総会の開催(6/10) 役員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 全体役員会(5/16,9/9,11/8,12/7) 香南支部役員会(5/25,8/26,9/9,9/27) 第5回土佐塩の道トレイルランニングレース2016の開催(10/2) 桑名龍吾県議一行(10名)受入 JA土佐香美情報交流会(年2回 23名) イオングループ(20名) 塩の道ジャズライブフオーク 塩の道キャンプ(県立大生2泊3日受入) 大柄小学校の課外授業で草刈りが定着 陸上自衛隊第50普通科連隊による、30kmトレランにおける道のボランティア整備の定着 第9回土佐塩の道30kmうおーくの開催(H29/3/26) 	○土佐塩の道の再整備及び保全を行い、歴史遺産又は文化遺産として次世代に継承するとともに、交流人口の拡大や地域の活性化を図る。	・トレイルランニングレース 参加者： 25Kmコース・・・173人 50Kmコース・・・32人 ・塩の道うおーく 参加者：65人	A	・塩の道の整備作業を行い、塩の道の保存に努めた。また、トレイルランニングレースや30kmうおーく等のイベントを開催し、交流人口の拡大を図った。 イベント開催時に実施したアンケートから、知名度も上がっていることがわかった。	・整備できていない部分の整備、保全を行い、イベント等の開催により、交流人口の拡大、地域の活性化を図っていく。また、アンケートにあった、塩の道をゆっくりと歩きながら、歴史を知るようなイベントや体力的に不安のある人に向けた短距離のウォーキングの開催も検討する。
	<p>◆サイクリング事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史博事業で香南市観光協会はレンタサイクルを増台し、アウトランドは新規で購入 同事業でサイクリングコースを策定 サイクリング専門委員会の開催(10/20、H29/1/19) アドバイザーを交えてサイクリングコースの一部を試走(12/12) サイクリングイベントの開催(1/29 第4回高知シクロクロス ヤ・シィ シクロクロス カップ、2/26 ヤ・シィdeポタリング♪) 	○レンタサイクル貸出人数 ・サイクリングターミナル:1,000人 ・のいち駅:439人 ※平成27年度実績	○レンタサイクル貸出人数 ・サイクリングターミナル:1,177人 ・のいち駅:537人	A+	・レンタサイクルの増台、貸出場所の整備によって、利用者の利便性の向上を図った。 ・テーマごとに策定した周遊コースと、それを周知する「まるごと体験 ツールド・香南」カタログの発行により、香南市のサイクリング知名度が向上した。	・サイクリングコースの安全性や快適性を高めるため、注意喚起標識や案内板の整備を進めるとともに、サイクリングイベント等の開催、プロモーションを行い交流人口の拡大を図る。
	<p>◆物部川フェスタ</p> <ul style="list-style-type: none"> イベント部会の開催(4/25,6/29,8/9,9/6,9/15) 第2回物部川フェスタの開催(9/25) 出店:21店舗、体験イベント(カヤック、雲梯)実施 第7回物部川流域三市合同イベント開催に関する実行委員会(11/29) 	○来場者 約5,000人	○来場者 約4,000人	A	・南国市・香南市・香美市の各市が川の恵みによって育まれた「食」をテーマに、また、雲梯やカヤックなどの「体験」を通して、広く地域住民が交流し、3市の一体感の醸成や交流人口の拡大を図ることができた。	・広域観光組織「物部川DMO協議会」へ引き継ぎ、事務局及び3市、3市観光協会、3市商工会を中心に、イベントをきっかけとして観光施設を周遊できるよう、開催時期や場所、内容等について検討していく。(5/9,5/26打ち合わせ)
	<p>◆物部川広域観光活性化プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> 物部川DMO協議会設立(6/30) ※以降、毎月、担当者会を開催(7/20,8/17,9/21,10/19,11/16,12/14,3/22) 株式会社ものべみらい発足(9/12) 「おさかなクリスマスin高知・物部川」の開催(12/23) おさかなクリスマスin高知・ものべ川の集客数: 約1,800人。年末年始における周辺観光施設の集客増加と いった一定の波及効果があった。 物部川DMO協議会 第1回総会(1/25) 	○パイロットプロジェクト 集客数 2,000人	○パイロットプロジェクト 集客数 約1,800人	A	・物部川DMO協議会の取組のキックオフの位置づけとして、子育てファミリーをメインターゲットとした集客イベント「おさかなクリスマスin高知・物部川」を開催し、物部川の魅力を広く発信することができた。また、年末年始における域内観光施設の集客増加を図ることができた。	・物部川DMO協議会の本格的活動のスタートアップとして、近隣県(四国3県、岡山県、兵庫県、大阪府)の子育てファミリー層へ戦略的情報発信を行い、エリア全体の認知度向上や誘客、滞在時間の拡大及び周遊促進による観光消費額の増大を図る。(マーケティング調査、SNS等による情報発信、誘客イベント、プロモーションなど)

平成28年度の実績【観光分野】

数値目標	目標値(H28)	実績値(H28)
観光施設入込客数	100万人以上	104.7万人※歴年

戦略の柱	具体的な取組	目標値に対する実績(成果等)		総括		今後の取組(対策、改善)
		○指標及び目標値 (平成28年度末)	実績値 (平成28年度末)	数値目標に対する 客観的評価	原因及び課題(分析)	
広域観光の推進	<p>◆市民と地域資源の総力を結集したビジネス支援事業</p> <p>・広報活動 ⇒香南ケーブルテレビにて告知、香南市広報紙にて紹介、商談会にて配布、DM発送、香南市内各施設にて配布(ユニット店舗、道の駅、市役所各支所、図書館、宿泊施設等) 東京まるごと高知、移住者促進センターにて配布 南国・香美・香南地域情報雑誌「こじゃんと」にて紹介、プレゼント提供 香南市内外イベント会場にて配布(食1グランプリ、のいち動物公園、四国DC、絵金祭り、マリノフェスティバル、みなこい港まつり、須崎ご当地キャラまつり、物部川フェスタ、日曜日、高知幕末維新博オープニングイベント等) ・生産者会議 5/24,7/27,3/16 カタログ作成についての意見交換会 ・商談会参加(年4回) ・ギフトカタログ通年号作成(155品目 36業者) 7,000部(9/27)、3,000部増刷(3/30) ・ふるさと納税勉強会への参加 3/15</p>	○カタログ販売額 3,200千円	○カタログ販売額 2,861千円	A	カタログを春夏・秋冬の半期ごとのものから、通年利用できる形式に変更したことで、より一層の香南市の特産品のPR、リピーター需要に活用いただけた。また、予算に合わせたオリジナルギフトの作成や、県内外のイベント等で行った販売促進活動においても一定の成果が見られた。	<p>・香南市の特産品を、SNS・各種メディア・ふるさと応援寄附等を通じ、幅広い年齢層にPRを行う。同時にイベント等の情報発信も行い、香南市のファンの増加を図る。 ・一層の生産者との連携を行うことで、カタログ品目の増加を図る。 ・生産量全国一の「香南のニラ」のPRを行っていく。</p>
	<p>◆地域まるごと旅行商品の開発販売及びランドオペレーター機能構築事業</p> <p>・ニラ収穫体験モニター(5/29 7人参加、6/5 中止) ・羽尾暮らし体験モニター(6/23 5人参加、7/24 15人参加、8/28 12人参加、10/11 中止、11/19 12人参加、12/24 13人参加) ・折り紙&新聞ばっく教室(8月毎週土)(参加者のべ21人) ・塩の道トレイルランニングレース(10/2 250人参加) ・海のみえるまちあるき(10/30 21名参加) ・サンセットシーカヤックモニターツアー(11/20 8人参加、11/26 中止、12/11 10人参加、12/17 9人参加) ・謎解きMissionまちあるきin香我美町(2/5 17人参加) ・香南市内外イベント会場にて配布(四国DC、絵金祭り、マリノフェスティバル、みなこい港まつり、須崎ご当地キャラまつり、物部川フェスタ等) ・修学旅行研究に参加 3/1~3/3</p>	○観光客入込数 70万人	○観光客入込数 60.5万人(H28暦年)	A	通年を通し、多くの香南市の魅力ある体験旅行を企画・プラン手配を行った。また年間のモニター、旅行商品を販売、地域の磨き上げとともに、地域住民の協力も得ることで、地元の活性化にも繋がった。	<p>・市民の方々と共働で、地域ならではの「旅」を提供できる商品の新規発掘および販売を行う。 ・各施設と連携し、観光客にさまざまな旅を提案・紹介する技術をもつことで満足度向上と滞在時間を延ばし、その他観光素材への集客数の拡大を図る。 ・セールスキャラバン等にも参加し、エージェントへ香南旅行をPRする。</p>
人材の育成	<p>◆まちの案内人会</p> <p>・赤岡町歩き(伊予鉄トラベル) 4/20 ・野市案内三叉野々宮神社他(高知観光) 6/14 ・赤岡町歩き(広島) 9/13 ・赤岡町歩き(観光コンベンション協会 ※外国人記者) 10/29 ・赤岡町歩き(観光コンベンション協会 ※外国人記者) 11/6 ・赤岡町歩き 11/8 ・謎解きMission町歩きin香我美町 2/5 ・ヤ・シイdeポタリング♪モニター 2/26 ・役員会(6/26,8/15,11/5,1/28,2/19) ・総会(8/19) ・研修参加(11/16,11/27,2/8,3/10)</p>	○案内人の研修や会合に参加をする。 ○総会を年1回、理事会を年間数回行う。 ○「志国高知 幕末維新博」に向け勉強会を行う ○会員同士の勉強会を行う。 ○年間受入回数(目標10回)(例年:7回程度)	○年間受入回数 8回	A	まちあるきガイドの案内体制の強化ができたことで、団体客の受入も可能となり、観光消費の拡大や滞在時間の延長に繋げることができた。	<p>・案内人人数の増加(現在26人)、育成 ・マニュアルの整備(H29年度作成予定) ・案内コースの作成</p>
	<p>◆外国人観光客の受入体制づくり</p> <p>・公衆無料Wi-Fiの整備が完了(9/30) のいち駅、ヤ・シイパーク、絵金蔵、弁天座、サイクリングターミナル、天然色市場 【補足】のいち動物公園、どうぶつ科学館、アクトランド…無料Wi-Fi ・多言語パンフレット作成(10/31 アクトランド) 英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語・タイ語 【補足】のいち動物公園・絵金蔵 英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語 ・ヤ・シイパーク施設案内板の5カ国語表記(12/16) ・ヤ・シイパーク洋式トイレ整備(H29/3/21)</p>	○外国人観光客受入環境整備(Wi-Fi、観光案内板)	○外国人観光客受入環境整備 ・Wi-Fi:6カ所 ・多言語パンフレット:1カ所 ・多言語観光案内板:1カ所 ・洋式トイレ:1カ所	A+	高知県国際観光受入環境整備事業費補助金を活用し、計画どおり整備することができた。	<p>・大型クルーズ船などの外国人観光客受入に向けて、高知県観光コンベンション協会や香南市観光協会、市内観光施設と連携し、市への誘客の仕組みを構築する。</p>

平成28年度の実績【住宅分野】

数値目標	目標値 (H28)	実績値 (H28)

戦略の柱	具体的な取組	目標値に対する実績(成果等)		総括		今後の取組(対策、改善)
		○指標及び目標値 (平成28年度末)	実績値 (平成28年度末)	数値目標に対する 客観的評価	原因及び課題(分析)	
住環境の整備	<p>◆住宅リフォーム制度</p> <p>・市内に所有し、居住する個人住宅を対象に、住宅のリフォーム工事を行った場合に、その工事費用の20%(上限20万円)を補助。 ・20万円(28件)、10万円以上(24件)、10万円以下(14件)、廃止(1件))</p>	○利用件数 50件(予算額10,000千円)	○利用件数 67件(交付額9,789千円)	A+	<p>廃止1件(200千円)・補助金減額(11千円)で総額211千円の残額が発生した。</p>	<p>・28年度は募集1日で予算額に達したので、29年度は補助金額を15,000千円に拡大。また、募集期間も2週間(6/12~6/23)とし、多くの市民に利用していただくようにする。 ・補助金制度の周知を図るため、広報活動として、チラシの全戸配布・市ホームページへの掲載等をする。 ・市が業者の斡旋を行っていないので、高知県建設労働組合香南支部に協力を依頼する。</p>
市営住宅の整備	<p>◆市営住宅の整備</p> <p>・生活環境の保全、及び公衆衛生の向上に向け、単独処理浄化槽から合併浄化槽への変更と、福祉対応型改修工事として、手すり新設。</p>	○浄化槽設置工事 30戸 ○屋根外壁工事 2戸	○浄化槽設置工事 20戸 ○屋根外壁工事 2戸	A	<p>国庫補助金の変動により、目標数値が変わってくる。</p>	<p>予算要求額を多めに要求する。</p>
住宅の耐震化	<p>◆住宅耐震診断事業</p> <p>・木造住宅…診断費用の自己負担3千円 ・非木造住宅…3万円補助</p>	○利用件数 100件	○利用件数 127件	A+	<p>事業を順調に進めることができた。</p>	<p>診断のみで終わらずことなく、改修工事まで進めていただくよう、住宅耐震化の重要性を広報等でお知らせする。</p>
	<p>◆住宅耐震改修費補助事業</p> <p>・香南市「住宅耐震診断事業」による耐震診断を受診し、総合評点数が1.0未満と診断された住宅に対して、設計及び改修費用を補助。(設計1棟あたり経費の2/3上限205千円、改修1棟あたり上限1,000千円)</p>	○利用件数 改修設計90件 改修工事90件	○利用件数 改修設計75件 改修工事70件	A	<p>一定の申し込み件数はあったが、診断件数から比較すると鈍化している。所有者の自己負担額軽減が課題。</p>	<p>所有者の負担軽減を図るため、設計費補助金に10万円上乗せを行い、耐震化を進める。また広報等で周知と併せ戸別訪問を行い、住宅耐震事業を推進する。</p>
	<p>◆コンクリートブロック塀耐震対策事業</p> <p>・避難路等に面している危険性の高いコンクリートブロック塀等を撤去したり、安全なフェンスなどに造り替える経費に対して補助。(上限205千円)</p>	○利用件数 15件	○利用件数 12件	A	<p>申請件数は毎年増加しているが、制度の認知度が課題。</p>	<p>広報等で周知を行う。また老朽住宅除去の相談があった際、危険なブロック塀もある場合には所有者へ制度の説明を行い、耐震化を進める。</p>

平成28年度の取組実績【住宅分野】

数値目標	目標値(H28)	実績値(H28)

戦略の柱	具体的な取組	目標値に対する実績(成果等)		総括		今後の取組(対策、改善)
		○指標及び目標値 (平成28年度末)	実績値 (平成28年度末)	数値目標に対する 客観的評価	原因及び課題(分析)	
空き家対策	<p>◆老朽住宅等除却事業</p> <p>・避難路等に面しており、倒壊により避難路を閉塞する可能性のある著しく老朽化した住宅等の除却に要する経費に対して補助。(補助率80%、上限1,645千円)</p>	○利用件数 20件	○利用件数 20件	A+	事業を順調に進めることができた。	問合せは多く、住民のニーズは大きい。すでに老朽が進んでいる住宅の所有者には積極的に補助金制度の説明を行い、撤去を推進する。また広報等でも周知を行う。
	<p>◆香南市ウエルカム移住・定住促進事業</p> <p>①お試し住宅及び移住者支援住宅の整備 香我美町の東川・西川地区と夜須町の北部地区の中山間地域をモデル地域として空き家を活用した移住施策に取り組んだ。 ○お試し住宅として整備するため香我美町西川地区の空き家を借り上げ、実施設計まで完了 1件 ○移住者支援住宅として活用する可能性のある空き家を香我美町東川地区で掘り起こした 1件</p> <p>②ウエルカム移住促進事業費補助金【補助制度】 モデル地域の空き家及び移住者支援住宅(本市への定住に向け、実際に生活しながら住宅を探したい者に使用させるもの)を活用する市外からの移住者に対する補助金制度を創設した。 ・住宅取得支援として、取り壊し費用を含む新築資金(補助率80%、上限1,600千円) ・荷物の整理・処分費用(補助率50%、上限4,000千円) ・引越し費用(補助率75%、上限100千円)</p> <p>③空き家バンク事業の開始 平成28年11月から香南市全域を対象として、空き家バンク事業を開始し、移住希望者にスムーズな住宅提供ができるよう空き家バンク登録への呼びかけや登録時の手続き支援を行った。</p>	○お試し住宅の整備 1件 ○移住者支援住宅の整備 3件予定(～H29)	○お試し住宅の整備 0件(実施設計1件済) ○移住者支援住宅の整備 0件(H29繰越)	A-	<p>◆中山間モデル地域に活用可能な空き家が少なく、物件の選定に時間を要した。また、補助金活用の実績が生まれなかったことは、実態に沿っておらず使い易い補助金となっていなかったように思われる。市の移住者受入の住宅支援策について、まだまだ周知ができていないため、地域や民間との協力連携し、市民に、移住者希望者にわかりやすい支援策を構築することが課題である。</p>	◆ウエルカム移住・定住促進事業における移住者への住宅支援として、市内全域を対象とした「空き家バンク事業」をメイン事業とする方向性を持って事業(支援)展開を図り、誰もが分かり易く活用しやすい仕組み作りに取り組んでいく。また、空き家情報の収集と市内外に向けた情報発信においては、地域や不動産業者等、民間との協力・連携に取り組む。